

中部縦貫自動車道 高山清見道路（高山IC～丹生川IC（仮称）間）の
中間IC周辺の整備の方向性について

1. 経緯

中部縦貫自動車道 高山清見道路（高山IC～丹生川IC（仮称）間）の中間に位置する上野平において、国が計画するチェーン着脱場（チェーンベース）を、地域活性化インターチェンジ（以下「中間IC」という。）として整備することが、令和7年12月に決定された。

中間IC周辺における市の地域活性化構想の方針では、「市は拠点となる整備を行うことで、民間によるエリア開発を誘導する」こととしており、中間IC周辺の地域活性化に向けて地域特性を活かした拠点機能などを検討するため、令和7年度に中間IC周辺の地域活性化検討調査を実施した。

2. 調査結果

地域活性化の実現にあたり、整備する拠点に求められる機能や規模、実現可能性の高い官民連携手法の導入を検討するため、実績がある企業に対して市場調査を実施し、以下のとおり主な意見を整理した。

- ・魅力的で地域活性化の可能性が高いエリアである。
- ・現時点では、中部縦貫自動車道開通の見通しが不透明で民間での整備・運営は難しい。
- ・民間参入を前提として、まずは市が来訪のきっかけとなる多目的に利用できる公園などを整備することが必要。
- ・公園などは、芝生広場・屋根付き広場などの人の滞留を促し、原風景の価値を損なわない整備を推奨する。

3. 中間IC周辺の整備の方向性

地域活性化構想の方針や調査結果も踏まえ、中部縦貫自動車道の整備状況に応じた段階的な整備を行う。

(1) 高山清見道路完成時

当面は、地域特性（山岳眺望・田園風景）を活かし、軽トラマーケットやイベントなどの多目的に利用できる広場を整備し、市民や来訪者による賑わいのきっかけづくりを行う。

(2) 中部縦貫自動車道の高山市内全線完成時（将来構想）

広場を拡充した公園整備や民間活力による収益施設の導入により、賑わいの拡大を図る

とともに、民間開発を誘導して地域活性化を図る。

4. スケジュール

地域活性化構想エリア整備の方向性を踏まえ、地元との意見交換を行い、中間 I C 周辺の整備を進める。

令和 8 年 5 月～ 中間 I C 周辺整備について地元説明会開催

- ・ I C 整備の説明
- ・ I C 周辺整備の地域活性化整備について、地元との意見交換

IC周辺整備の将来構想

※写真はイメージ

※地域活性化構想エリアからの山岳眺望



高山市内
全線完成時
(将来構想)

地域活性化構想エリア

地域特性(山岳眺望・田園風景)を
活かした整備

高山清見道路完成時

中間IC

高山市内
全線完成時
(将来構想)



※地域活性化構想エリアについて
構想エリアは集約した場合の考え方を示している。
取得できる用地の位置が決まっていないため、分散型のエリア設定も考えられる。